

キラ☆八代人



みやじまロボットクラブ

左から

山本 拓真さん(第一中学校3年)

田中 克侑さん(第一中学校3年)

本村 祐成さん(八代中学校3年)

「国によってロボットの作り方や発想が違って勉強になった」と話すのはタイのチェンマイで開催されたロボットの制御技術を競う「ワールド・ロボット・オリンピック」世界大会に出場した山本拓真さん、田中克侑さん、本村祐成さんの3人。3人はみやじまロボットクラブに通い、他のクラブ員たちと切磋琢磨し、技術を磨いてきた。3人がチームを結成して2年での世界大会出場。初めて出場した大会は思いうような結果が出せず、「絶対に全国大会に行くぞ」と練習を週1回から週2回に増やし、技術の向上はもちろんチームの仲がさらに深まった。2回目の出場となる今大会で全国2位、世界大会への出場を果たす。世界大会ではルールが英語表記だったり、フィールドの質が日本と違ったりと苦労することも多く、「他国の選手はそういうところにも臨機応変に対応していた」と外国の選手との差を痛感したという。

3人で掴んだ世界大会



▲動画を撮影してロボットの動きをチェック

壁にぶつかるとも多いうが、何度もプログラムを調整したり練習を重ねて課題を克服していった。田中さんは「努力を重ねることで自分たちのロボットやプログラムで勝ち進んでいけるところが魅力」、本村さんは「自分が思ったようにロボットを作り上げるのは難しいが、完成したロボットが思い通りに動いてくれた時が一番うれしい」、山本さんは「世界大会では外国の選手とも交流し、学べることが多かった」とそれぞれ話し、努力したからこそ味わうことのできる喜びがあるという。

高校生になってもロボット競技を続けるという3人は「高校ではこのメンバーで3年連続世界大会に出場して、世界一になりたい」とすでに今後に向けて動き出している。

先輩社員の声

- ・社内がきれいで、社員みんな明るく働きやすい環境です。流れ作業ではなく、最初から最後まで製品に携わることができます。



(加工部・男性・34歳)

- ・製品を検査する際、三角関数などを使って考えるため大変なときもありますが、社員の皆さんがとても優しく、仕事やプライベートの面でも親身になって相談に乗ってくれます。

(検査部・女性・28歳)

社長メッセージ

弊社は平成11年に3人で創業しました。社名のパリッシュは英語のpolish（磨く）から取っており、人としてのいろいろな面を磨き、どこへ行っても恥ずかしくないような人材を育てていきたいという思いが込められています。個人個人の能力を生かして超精密部品加工のハイテク集団を目指しています。



発見 ✨ 元気印の会社 ✨ 9

今月の元気印の会社は県のブライツ企業に認定された「有限会社 パリッシュ」です。



《会社概要》

有限会社 パリッシュ

代表取締役 中村 浩徳

所在地 八代市上日置町 4311-1

☎ 53-1113

従業員数 23人

事業内容

半導体と電子会社精密部品加工など